

平成29年度 指定管理業務 評価票

久宝寺緑地	【指定管理者】 都市公園久宝寺緑地指定管理共同体	【指定期間】 平成25年4月1日 ～ 平成30年3月31日	【所管課】 八尾土木事務所 都市みどり課
-------	-----------------------------	-------------------------------------	-------------------------

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【久宝寺緑地】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
I 提案の履行状況に関する項目						
(1) 施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが「優しくなる公園」づくりのため、利用者への積極的な挨拶や対話によって、親近感を持っていただけるように心がけ、関係性を深めるよう努めました。また、受付や園内には来園者を歓迎するクラフトや装飾を季節ごとに行っています。 ・ソーシャルインクルージョンの考え方を取り入れた、ホームレス対応など公園の抱える人権・福祉的な課題解決に取り組めました。最後まで残っていたホームレスの方も11月に退去されました。公園の維持管理業務で障がい者や就職困難者の雇用創出を行い、エル・チャレンジをはじめとした障がい者および生活困窮者の就労訓練の場(清掃業務)として活用しました。 ・安全安心の公園運営のため、巡視体制の強化、遊具点検の充実により、瑕疵の早期発見への取り組みを実施しました。 ・巡視チェックシートの定期的な改正を行い、現状にあった巡視を実施しました。 ・今までの事件事故のデータの収集と分析を実施しています。 ・保護者と一緒に遊具を巡り、遊具利用についてのアンケートやヒアリングを例年3月に実施。(今年度も3月に実施予定) ・精密点検実施業者にアドバイスを求め、独自の補修を進めていくことで迅速に対応するよう努めました。 ・本社管理、所長、公園スタッフによるバリアフリーチェック(ハートフルゲート点検整備・多目的トイレ点検、園内ハザードや不法投棄物等の点検、円周花壇の整備点検)を月1回実施しました。また、公園スタッフを1名参加させ、巡視の視点等の研修を兼ねて行っています。 ・防災公園としてISO22301を取得し、指定管理者として事業を継続していくための体制・仕組みを確立。都市公園のISO22301取得は、久宝寺緑地が全国初で、今後、全国の防災公園のモデルとして取り組むことで、より一層、地域の防災力向上へと役立てようつとめています。(防犯防災総合展への久宝寺緑地防災モデルの貸出を実施) ・防災訓練についても、例年の9月、1月に加え、12月に夜間訓練も実施する予定です。 ・各施設の運営管理および維持管理は適切に実施しました。 ・次亜塩素を使った水質浄化施設の整備と毎日の点検。また、金魚綿などを使った水質強化に取り組んでいます。⇒便所の砂詰り防止策 <p>【自己評価】</p> <p>久宝寺緑地という公園の特性を理解し、利用者目線に立った運営管理を行うことができました。経年劣化が進む公園設置物についても随時、ペンキの塗り直し等、美化に努めました。特に防災公園としてISO22301を維持できるようPDCAサイクルに沿った運営管理を行いました。</p>	A	<p>実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。</p> <p>○久宝寺緑地の管理運営基本事項である、みどり環境保全・運動施設維持・「見どころ」であるシャクヤク園や花の広場の管理が適切に行われた。施設の安全管理については、利用者の立場にたつ工夫した取り組みが行われている。また、老朽化した施設が多いなか直営作業による修繕や補修作業が行われ、経費節減と施設の長寿命化に取り組んでいる。</p> <p>○運営の重要項目である防災公園機能の取組として、年ISO22301を取得すると共に、現場対応として、防災倉庫を設置し資機材を準備・府が行う訓練や独自訓練を実施するなど積極的に取り組んでいる。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>総合公園として、また防災公園としての機能要素を理解した適切な運営管理がなされていることが評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【久宝寺緑地】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員が参加する工程会議、責任者が出席する責任者会議と交互に隔週実施し、利用指導について考える機会を設けることで公園内の禁止事項や指導のしかたについて認識を統一しています。 ・バーベキュー等の繁忙期の巡視強化を行い、平等な利用を促進するため利用指導を実施。 ・オーバシステムによる施設予約を適切に実施。 ・12月に大会調整会議を行い、各施設の大会使用日の調整を実施予定。 ・施設案内やイベント情報についてはHPやFB、季刊誌、ローカルFM局などを通じて幅広く利用者に提供することに努めた。加えて、近隣自治会(長瀬南・弥刀校区・久宝寺・美園地区自治会)や小学校(大蓮・加美東・久宝寺)の協力のもと地域の回覧板に季刊誌を入れてもらえるようになり、季刊誌の部数は平成29年度は6500部へと増刷(平成25年度は3000部)。また、八尾市の協力を得、主要イベントの報道機関への広報を実施しています。(シャクヤク園、きらきらナイト、イルミネーション) ・ホームページでのバリアフリーマップ(ハートフルマップ)の公開により、車椅子や高齢者の公園利用の可能性を広げました。 ・バリアフリーチェック(ハートフルゲート点検整備・多目的トイレ点検、園内ハザードや不法投棄物等の点検、円周花壇の整備点検)を月1回実施しました。ハートフルゲートや多目的トイレの定期点検を行うことで、車椅子で利用される方のための利便性向上への改善を定期的に取り組んでいます。 ・「久宝寺緑地コミュニケーションボード」を作成し、園内でご活用いただけるよう整備するとともにHPからのダウンロードを可能にし、利用者の利便性に配慮しました。 ・久宝寺緑地HGCの活動支援を行うことで、普段公園に来ることができない利用者の活用促進に努めました。 ・プール前売店は一般公募により公平性を確保しました。 ・平等利用のため、アンケート調査を各種イベント時に実施し、より多くの利用者の声を聞くことに努めました。(シャクヤク園、プール等) <p>【自己評価】</p> <p>利用者の方に平等にご利用いただくため、より多くの方にご利用いただけるよう、今年度もHPやFBに加えFMチャオなどのメディアでの情報発信に努めました。特に季刊誌「久宝寺緑地しんぶん」は今年度も配布部数が増え、より多くの方の目に触れることになりました。今年度も定期的な職員会議や朝礼、夕礼にて職員の意識統一を図り、利用指導時の対応に統一性を持たせることが出来ました。</p>	A	<p>実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施し、また提案以上の取組みを実施している。</p> <p>○情報発信としてHPやFB情報の強化を実施すると共に、地域連携として発行している「久宝寺緑地しんぶん」やシャクヤク園・プール開設時のポスター・チラシ・新聞折り込みの当初計画の倍以上の増刷を行い、自治会での回覧・近隣小学校や八尾市まちなみセンターへの配布等新たな情報発信に積極的に取り組んだことは、非常に高く評価できる。</p> <p>○バリアフリー施設の点検強化やバリアフリーマップの作成、HGCへの活動支援等を行い、高齢者・障がい者の方々のさらなる利用促進に取り組んでいる。</p> <p>○定期的な職員会議や毎日の朝礼・夕礼を行い、利用者 に接する場合の平等性を確保している。</p>	S	<p>HPやFacebookでの情報発信の強化、ならびに、粘り強い営業による広報誌配布先の拡大など、さまざまな広報活動は高く評価される。引き続き、実施可能な体験が記載されたバリアフリーマップの作成など、平等利用の促進に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【久宝寺緑地】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	<p>公園利用者の利便性の向上がなされたか。(応募時に提案した利用者増加のための工夫がなされたか、魅力的なプログラムに取り組んだか。スポーツ施設等の稼働状況を踏まえた、今後の運営への反映に取り組まれているか。)</p> <p>※公園を特徴づける有料施設等の稼働率の確認。来園者数の確認 ※イベント等の実施回数及びイベント等の参加者数の確認</p>	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツハウスにコインロッカーを設置し、利便性の向上につとめました。(年間使用実績:11月末現在57回) ・スポーツハウスに温水シャワーを設置し(コインシャワー)、快適に使用いただけるようになりました。(11月末現在収益39,800円) ・バリアフリーチェック等を通じて、管理者ができるバリアフリー化を進めました。 ・HP(4公園ポータルサイト)での情報更新頻度の強化とスマホに対応するよう改定 ・園内掲示によるQRコードの活用 ・FAQについて取りまとめ、HPで公開しました。 ・積極的広報活動としてのFBの運用(例:FBページの非公開グループ「八尾」(メンバー数3,017名:11/29現在)への参加) ・FMちゃおへの出演および情報発信(月1回) ・季刊誌「久宝寺緑地しんぶん」の発行(年4回) ・駐車場のプリペイドカードを運用(平成29年度は11月末現在販売数36枚) ・9月3日に府内の小学生を対象とした「久宝寺緑地ソフトテニススクール成果試合」を開催(参加人数165名) ・久宝寺緑地未開設地区を混雑時(繁忙期)の臨時駐車場(自主事業)として活用。 ・ノルディックウォーク講座においてより多くの方に楽しんでいただけるよう既存の木曜日に加えて火曜日のコースも開設。 ・文化の日に久宝寺寺内町をご案内するコースを実施することにより新しい公園利用者の開拓に努めました。 ・中央広場のLEDイルミネーション(12/1点灯)は、昨年に引き続き照明デザイナー長町志穂さんにイルミネーションをデザインしてもらい、魅力アップにつとめました。(20000個以上) ・福祉においては生活困窮者等を対象とした就労訓練及び、訓練就労後の居場所づくりとして活用。 ・久宝寺緑地内での障がい者雇用等に関する視察受入 ・久宝寺緑地での就労支援機関への協力 ・大阪府心の健康センター利用者の居場所として園芸療法の手法を活用したボランティア(久宝寺サポーターシステム)プログラムの実施。 <p>・年間来園者数11月時点累計:1,385,031人 平成29年度(11月末時点):1,546,965人</p> <p>・施設稼働率:11月30日時点 野球場:70.7% 陸上競技場:52.4%</p> <p>【自己評価】 今年度は10月が雨天や台風の接近等が週末に集中したため、施設の利用キャンセルやイベントの中止など公園の利用状況に直接影響があり年間来園者数に減少が見られました。ただ、今年度も引き続き、応募時に提案した利用者増加のための工夫や魅力的なプログラムの創造に取り組んできました。11月以降は防災フェアやクリスマスイベント等の重要イベントを控え、利用者の増加が見込まれます。</p>	A	<p>実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。</p> <p>○設備の利便性を見込んだ改修、様々な情報発信の強化、催し物の継続や新たな催しの開拓を積極的に行い、利便性の向上に繋げている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。 スポーツ施設の利便性を見込んだ改修、様々な情報発信の強化、催し物の継続や新たな催しの開拓を積極的に行い、利便性の向上に繋げている点が評価できる。 引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
	<p>収益事業の実施状況、(応募時に提案した収益事業に取り組んでいるか、また、その実施状況について確認。)(※ Aグループのみ、Bグループも実績があれば記載可)</p>					

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【久宝寺緑地】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	<p>トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか。(接客等の職員研修の実施状況、苦情件数や対応処置の記録についての確認。)</p>	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談苦情受付窓口の配置対応(所長・副所長) 苦情・要望処理簿等の確実な記録と、職員間の情報共有 苦情を受けた場合、必ず、今後の対応を考え、改善に努め、職員間で情報を共有。 相談・苦情への対応時、苦情を申し出た利用者に対しての経過報告を実施。 バーベキュー繁忙時の利用指導の強化 犬の飼い主へのマナー向上を訴える「ドッグスクール(犬のマナー教室)」実施。 苦情の内容によっては大阪府と情報を共有できるように速やかに報告しました。 事件発生時には警察、とくに久宝寺派出所と緊密に連携し、夜間巡回の強化を依頼。 除草作業などの際は、事前に近隣住民にポスティングすることで周知しました。 心字池周辺の利用者との良好な関係を築くため、府民参加による池の管理法『どび流し』を2年に1回とし、今年は11月27・28日に池の清掃を実施しました。池周辺の利用者に情報が伝わりやすいよう「お知らせコーナー」を設置し、情報提供およびコミュニケーション向上に努めています。 ホームレスの対応については、健康状態をはじめ状況の把握に努めるとともに、大阪福祉会、八尾市とケース会議を持ち連携を取りながら対応を進めてきました。11月13日大阪府が、退去要請の張り紙をしたところ、11月14日に退去されました。 勝手に樹木や草花等の植栽が行われていた場所は、避難時の障害物となることが危惧されていました。個々にヒアリングをさせていただき、住民の理解を得ながら、意見を取り入れた植栽計画を立案し、障害となる花壇等の撤去を継続して進めています。 接客と利用指導について考える研修を実施(12月28日予定)することで、職員の接客技術の向上に努めています。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> お客様(公園利用者)へ丁寧に、しかも迅速に対応を行うことでトラブルの未然防止に努めました。特に、日ごろから利用者とのコミュニケーションや関係性を重んじることで、苦情やトラブルを未然にいとめるように働きかけ、挨拶から始まる会話を増やすことでよい関係を作りました。ホームレスの対応についても一人残っておられた方が、退去されました。 	A	<p>実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施し、また提案以上の取組みを実施している。</p> <p>○苦情を受けた場合、職員間での情報共有を図ると共に、申し出者への説明や経過報告を行い、コミュニケーションを大切にされた対応を積極的に取り組んだ。</p> <p>○また、自主退去の後、ホームレスが職員に退去のあいさつに訪れていることから、指定管理者のホームレスへの対応が型通りのものでない、丁寧なものであったからと考えられる。このことは、非常に高く評価できる。</p> <p>○さらに、公園の維持管理作業に対して利用者の意見を聞き、作業に反映するなど利用者との関係にも取り組んでいる。</p>	S	<p>苦情処理のシステム構築や、ホームレスの対応など、高く評価できる。引き続き、トラブルの未然防止、適正な対処に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【久宝寺緑地】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(4) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	草地管理、芝生地管理、樹木管理、花壇管理について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。利用や景観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草刈りに関しては、近隣住民の要望を踏まえ、11月までに4回目までの草刈りを終了し、5回目の草刈り区域は翌年の3月に残し、春先の草地をより快適に演出できるように、草刈りの時期を変更。 ・樹木管理に関しては、景観形成に配慮した剪定を実施。特に、第2駐車場外周部分のカイズカイブキは風による倒木を防ぐため、先端を剪定するとともに、内外の見通しを確保するために下枝の除去も同時に実施。近隣住宅と接している高木は、樹高を押え境界の内側まで切戻しを行った。園路照明の周囲の樹木は樹高を下げ見通しの良い剪定を実施。枯枝等の除去は安全確保のため日常の巡視報告で常時実施。加えて、樹木剪定時には景観剪定技術を持つものが従事し、剪定、伐採を実施。 ・花の広場の花木については策定した景観形成計画に基づき、花木の植栽を行い、既存の樹木については、時期を選び剪定を行い良好な景観の育成に努めました。 ・風の広場についても盲人用タイルに記載されている樹木についてはすべて新植し、当初の意図が反映されるようにしました。 ・危険木の調査を実施し、該当樹木、枯れ枝等の除去に努めました。 ・カシナガキクイムシの被害木調査を行い、分布図を作成しました。 ・カシナガキクイムシによる枯損木は伐採を行い、切り株には薬剤燻蒸による利用者のアレルギー等が発生しない方法として、シイタケ菌を植え付け、ナラ菌の撲滅を図りました。また、生存木にはカシナガホイホイを巻き、経過観測を行っています。 ・花壇管理については計画に基づき実施。とくに久宝寺橋では、来園者による草取りができるよう籠を配置しベストマネースポットとしました。 ・勝手花壇は3番出口から4番出口の間を、住民との話し合いののち整備し、フイリヤブランを植栽しました。 ・芝地管理は施設内芝生を重点的に管理しました。肥料は4月中旬より8月を除き10月まで月に2回の施肥を行いました。刈り込みも管理日が雨天以外は毎週行いました。また、発芽処理剤を4月と11月に散布し、メリケンソウ等の有害雑草の駆逐に努めました。 ・硬式野球場3塁側外の樹林地から土砂が流出するため、ティフトン芝を植え付け、土の流出を防止しました。 <p>【自己評価】</p> <p>近隣住民の要望に応え住宅に近い部分の草刈り時期を見直し、管理計画を作成し、実施しました。特に施設の芝地は重点的に管理を行い、芝生の回復に努め、利用者に喜んでいただけるように管理計画を立て、実行しました。景観に配慮した植物管理を行い、快適なオープンスペースを提供できました。</p>	A	<p>実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。</p> <p>○園内の維持管理については、繁忙期や閑散期の利用時期を見据えた作業ができている。また、新規に開設された「水辺広場」の管理作業では、管理の初期対応を十分考慮した作業が行われた。</p> <p>○老朽化した盲人用施設の枯損木を新植や、ナラ枯れ対策としてシイタケ菌を利用した新たな取り組みなどが積極的に行われた。</p> <p>○公園周辺の作業として過去の苦情を考慮した剪定や、近隣の方々が公園内に自由に植栽した物の整理をコミュニケーションを取りながら行った。</p> <p>○芝生管理として特に硬式野球場の重点管理に取り組み、委託内容にない作業項目を行って品質向上に繋がっている。</p>	A	<p>事業実施計画書の提案などに沿った草地管理等が行われている。</p> <p>硬式野球場の重点管理、過去の苦情を考慮した剪定、ナラ枯れ対策などに積極的に取り組んでいることが評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【久宝寺緑地】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	園内清掃について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。利用や美観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空調設備の定期点検(清掃共)を行いました。(6月21日・8月30日) 園内の冠水箇所の把握に努め、花の広場付近の洗管を行うことで、冠水箇所を解消しました。 心字池のどび流し後のヘドロ除去のため、風の広場付近の洗管を行いました。 事務所管理棟の外壁・表示看板・入口の園内地図板の高圧洗浄を行いました。 昨年度からの「府営公園ごみゼロ計画」に基づき、ごみ箱を完全撤去後、夜間の放置ごみや、巡視時発見ごみを早期回収するなど美観の保護につとめました。 特別清掃として、神武川・免田水路の除草・清掃・浚渫を年2回実施。(5月・9月) トイレ清掃については、清掃マニュアルに基づいて清潔の保持につとめました。 巡視時にトイレ点検を行い、トイレトーパー等を補充。 月1回トイレ・多目的トイレの重点点検を実施。 全職員を対象に、2月にトイレ清掃研修を実施予定。 北地区のトイレの井水による黒ずみ(地下水使用のため)を除去するためにトイレ便器へのシリコンコーティングを実施 バックヤードについて、伐採・抜根等による大規模整備(南東部分)を実施しました。一般ごみ置き場にネット囲いを行い、カラスによる散乱等を防止。産業廃棄物置き場も平積み回収をコンテナ回収に変更。 その他園内の清掃は、公園管理要領に従ったスケジュールで実施。 <p>【自己評価】</p> <p>年間を通じて日常管理を確実に行うことにより良好な施設管理ができました。バックヤードについては伐採、抜根等による大規模整備、ゴミ置き場の美化と砂置き場の整地を実施しました。</p>	A	<p>実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。</p> <p>○園内の清掃管理については、繁忙期や閑散期の利用時期を見据えた作業ができている。また、トイレ清掃は毎日行っており、トイレに関する苦情が寄せられたことはなかった。</p> <p>○久宝寺緑地は平坦地のため部分的に滞水する箇所が発生する。現場状況を把握して排水管の洗管作業を適時行い、雨後の快適利用ができるようになった。</p> <p>○提案項目にはなかったバックヤードの整理整頓に積極的に取り組み成果を上げると共に、園内で発生するゴミの分別回収にも取り組み、資源リサイクルに繋げている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>園内清掃、便所清掃の原則毎日実施に加えて、利用状況に応じて弾力的な清掃を実施するなど、園内を美しく保つ取り組みが評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>
	プールの運営、維持管理について、良好な管理を行ったか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本年は、7月第1週の1日(土)から営業を開始。1~2週は土日のみ。第3週の15日(土)から8月末まで毎日営業しました。 久宝寺緑地周辺エリアで新聞の折り込み広告(朝日新聞・毎日新聞・読売新聞・産経新聞)にて95,000部を配布。 5,000部の自主配布としては、大阪府、八尾市、八尾市保育所、大連自治会、大連・久宝寺小学校、商工会、コミュニティセンター、ふれあいセンター、新たに加美東小学校へも配布を実施。 旅行情報誌じゃらん、るるぶ、マップル、ぼど、関西ウォーカー、みんなま等への掲載を実施。 自主発行の久宝寺緑地しんぶん(6,000部)への掲載を実施。 プール内でのイベントを実施。好評の『ヨーヨーゲット大作戦』を開催(8/27参加者200名)。家族連れが多く参加し大変好評でした。 ヤシの木は計画に沿って剪定を実施。期間中にもヤシの花の剪定を実施。 券売機室前、ミストの設置。浮き輪等の空気入れにエアコンプレッサーを設置。 プール営業前に監視員を対象に八尾市消防署・日本赤十字社による救急講習を行い、安全意識の向上とAED取り扱い要領の習得につとめました。 ご意見箱及びアンケート箱を設置し、来場者の声を収集しやすい環境を整備 来園者の要望に沿った食堂メニューとプール内売店の販売グッズの充実を図りました。また、食品の管理を徹底し、食中毒発生防止に努めるとともに、加工食品のアレルギー表示を掲示しました。 繁忙期には水面監視員を増員し、事故の未然防止に努めました。 清掃専従のアルバイトを採用し、更衣室、トイレ等の巡回清掃の効率化を高め、衛生管理に努めました。毎日、乗用式スイーパーによるプールサイドの清掃を実施。 拾得物や問い合わせについては、プール管理棟と管理事務所受付との連絡調整を密にすることで、迅速に対応することができました。 雷注意報発令時は場内放送で注意喚起を促し、雷鳴があった場合は遊泳を中止し屋内への避難処置を実施しました。 厳格な水質管理と適正なる過装置の運用により、プールの水質をより良い状態で維持することができました。 開園前に、各プールの排水溝の位置をプールサイド及び配置地図へ表示しました。 カラス対策として、日々のゴミの整理を徹底しました。 <p>【自己評価】</p> <p>厳格な水質管理と適正なる過装置の運用、水面監視員の教育から繁忙期の増員、オープン前の危険箇所の除去(危険木の撤去)等を行うことで、安全な運営と確実な維持管理を行うことができました。特に衛生面の強化を行い、ゴミの整理の徹底と、管理棟全体のバルサンによる害虫駆除、更衣室の殺虫や臭い対策により利用者に不快感を与えないプール施設の維持管理を行いました。また、開業前のプール洗浄に隣のプール水の利用や期間中のプールへの補給水管理をきめ細かく行い使用水量の節減に努めました。</p>	A	<p>実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。</p> <p>○プール運営前の情報提供として、新聞への折り込み広告・近隣施設への自主配布・情報誌への案内等を積極的に行うと共に、プールサイドでの催しを実施し利用向上を図った。</p> <p>○老朽化したプール施設(プールサイドのひび割れ・管理棟内建具等の不具合・循環浄化装置配管の不具合等)の補修を、職員の工夫した作業を行うことにより、事故なく安全に運営できた。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理運営がなされている。</p> <p>プール開設時の運営管理は、監視員の適正配置や適切な水質管理による配慮・取組みがなされている。また、広報活動やイベントの開催によって、利用者の利便性向上を図ったことも評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【久宝寺緑地】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	運動施設について、良好な管理を行ったか。(頻度および技術について確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野球場の重点管理において、今年も黒土を40t投入し、ダイヤモンド内のレベルは保たれ、快適なグラウンドに仕上がりました。 ・野球場の芝生地管理については、不良個所に毎月目砂を施し、芝生の回復を助長した結果、ターフの回復は90%程度完了しました。また、側溝沿いにも芝生を張り、黒土の流失を防ぎました。更に前年同様に芝刈り回数や施肥回数の増加を実施することで芝生の芽数を増やし、均一な芝生になるように努めました。以上の管理により、芝生の回復を図りました。 ・サンドブロ(攪拌用スポーツトラクター)や以前からあるトラクターのアタッチメントを工夫して使用し、攪拌や整地作業の効率を高めて、より快適なグラウンドに仕上げる事が出来ました。 ・野球場外野芝の活性化の為、バーチドレーン作業や目砂散布を今年も2~3月に行う予定です。また、内外野塚の段差解消のためにソードカッターを使用し、芝生を剥ぎ取ったのち土を鋤取り、高さの調整を行なうことで、イレギュラーバウンドを発生しないように取り組んでいます。(1月から2月予定)。 ・オーバシステムによる施設予約を適切に実施しています。 ・12月に大会調整会議を行い、各施設の大会使用日の調整を実施します。(予定) ・タイムセブン及び早朝利用の実施を行い利用者の利便性に配慮しました。 <p>【自己評価】</p> <p>快適な運動施設の管理のために、適した器具や機械および工法を導入し、コンディションが良好に保てるグラウンド管理を行いました。今後も利用者に喜んでいただけるグラウンドを目指していきます。また、来年度には外野芝生の回復100%を目指し、緑の外野グラウンドを完成させるように努力します。</p>	A	<p>実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施し、また提案以上の取組みを実施している。</p> <p>○夏の高校野球予選が行われる硬式野球場の維持管理として、黒土の大幅投入やプロ野球仕様の整備機械を投入しての整備作業。内外野沿いの芝生段差を解消し、大幅なグラウンドの品質向上に繋がったことは、非常に高く評価できる。</p> <p>○軟式野球場についても、硬式野球場に準じた維持管理作業を積極的に行っている。</p>	S	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。硬式野球場の大幅な品質向上は高く評価できる。引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>
	特殊庭園について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特殊庭園管理計画書(5ヶ年)に基づき、最終年度の予定を順調に執行しています。 ・芍薬園内の畑に、今年度より燐炭を改良材に加え、より一層の植物の活性化を促していきます。また、今年度も新たに新品種を購入し、来年の開園時に利用者に喜んでいただけるようにしています。 ・花車での花苗販売も定着し、お客様にも好評で毎回完売しています。 ・播種した小麦は芍薬の開花期とマッチし、より芍薬を引き立たせました。 ・シャクヤクの魅力をアピールするイベントとして、移動式和室による野点、母の日のシャクヤク切り花配布、シャクヤク専門家による講習会(5月開催)、ライトアップ夜間特別開園&ジャズライブ、バイオリン・お琴演奏会を今年も開催し、大変好評でした。さらに、フラワーアレンジメント講習会を開催し多くの方に参加いただきました。 ・ポスター(B2サイズ)は、民間施設(観光センター、アリオ八尾)、各駅で掲示しました。今年初めて阪堺線の天王寺駅に掲載もしました。 ・インターネットでの告知・広報(久宝寺緑地HP・FB、大阪府FB、八尾市HP)と地元FM局での放送も行いました。 ・今年も花だより(近鉄広報誌)に芍薬園を掲載していただきました。また、近鉄の駅に張り出している花だよりのポスターにも掲載していただきました。 ・シャクヤク鉢の展示については、見附植栽の技法による装飾を行い、単独鉢もラッピングにより美しく飾ることができ、庁内でも好評でした。 ・シャクヤク鉢の展示(大阪府庁、八尾市、東大阪市、大阪市、平野区、最寄駅などに展示) ・FBへの投稿及びツイッターによるシャクヤク園の開花状況の情報発信 ・新聞媒体への情報提供(産経) ・シャクヤク管理台帳および管理カルテを作成し、品種の管理、データの蓄積に努めました。 ・スポーツハウスの有効利用として、開園時のシャクヤク写真を公募し、シャクヤク写真展を開催しました <p>【自己評価】</p> <p>今年度は、新たな取り組みとして夜間照明を色の変わるLED電球を使用し、幻想的な雰囲気を作り出しました。また、配布用の鉢花を2月より促成栽培し、開園前に開花させ、開園前から、展示時に開花した芍薬を見せる事が出来ました。更に、自然に優しい工法として、ヨーグルト菌・納豆菌に加え、カリグリーンによるうどんこ病対策を試みました。このように様々な試みをし、利用者にとのしんでいただき、また、環境に優しい工法を試し、芍薬の広報に努めました。</p>	A	<p>実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施し、また提案以上の取組みを実施している。</p> <p>○植物の生育状況を観察し、より高品質なシャクヤク園となるよう自主的な栽培管理(周辺植物から受ける影響への配慮・新しい品種の導入や病害虫防除・株分け配色の工夫・生育状況を配慮した土壌改良等)を積極的に追及し、久宝寺緑地一番の「見どころ」として支持されるようになったことは、非常に高く評価できる。</p> <p>○シャクヤク園で行われる催しは、年々新しい取り組みが行われ来園者の増加に寄与している。</p>	S	<p>特殊庭園管理計画に基づき、シャクヤク園では専門技術者による独自性の高い管理を遂行している。また、広報活動により多くの来園者を集めたことなどが高く評価できる。引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【久宝寺緑地】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	重要公園施設について、良好な管理・運営を行ったか。					
	管理対象外施設である海岸管理者との連携や海岸利用者について応募時の提案を実施できたか。					
	自然環境の維持創出、自然環境学習の取り組みについて応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●心字池 <ul style="list-style-type: none"> 池の水質浄化のため養魚用水車を2基設置し今年度も引き続き稼働 夏季の水質維持のため、夜間に水車を回す等、状況に合わせ柔軟な維持管理を行った。 水質浄化の為に池の清掃と、蓮の繁茂を抑えるための対策を11月28日に行った。 どび流しは来年度実施予定。(隔年実施) ●自然学習ゾーン <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度作成の4か年計画に基づき、NPO法人樹木・環境ネットワーク協会と北地区樹林地(自然学習ゾーン)の樹木調査および樹林地の植生や生き物の多様性に配慮した再生を実施中。 昨年度に引き続き、久宝寺緑地で見つけたカトムシの幼虫を成虫に育て今年度は園内に放すことができました。昨年度に引き続き草花調査、自然観察会を行い、自然学習ゾーン再生PJとして、自然環境に近い林にするため、間伐体験や昆虫の寝床づくりなど、府民参加型による自然学習ゾーンボランティア活動を行い、親子連れでの参加者が定着して来ており、好評でした。 レッツ久宝探検隊による自然学習の取り組み(月1回のイベント実施、自然学習ボランティア活動) 今年度は近隣小学校からの依頼もあり、小学生の授業(総合学習)の一環で、久宝寺緑地についての学習会を行いました。その折に公園の自然環境について案内する散策ツアーと質疑応答を開催しました。(11月7日) <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度は昨年度末に就航された水辺広場も含めて自然学習の場として活用していただきました。自然学習コーナーを「モッパちゃんの森」と名付けることで、子供たちにもアピールしてきましたが、ようやくその存在に愛着を持ってもらえたようです。自然学習への参加者も増加を見せ、プログラムによっては定員を超える応募があるものも出てきています。今年度も計画通り進めることが出来ました。 	A	<p>実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。</p> <p>○園内利用や生育状況を把握した(心字池=釣り利用者・夜間の酸素不足対応・どび流し時の利用者との協働、学習ゾーン=自然観察ゾーンとしての林床保全)維持管理を行い、さまざまな自然学習ができていた。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>園内利用や生育状況を把握した維持管理を行い、様々な自然学習を実施する等の点が評価でき、特に親子を対象とした取り組みの定着は、評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【久宝寺緑地】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	利用者の安全確保対策の具体的方策。(日常巡視や定期点検、瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適格に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備点検については年間設備点検計画を作成。計画どおり実施しました。 ・隔週で工程会議と責任者会議を開催し、毎日の巡視結果の点検、瑕疵の早期発見や、安全対策を協議し、早期対応を行っています。 ・公園職員以外のものによるインスペクションを月1回実施し、利用者目線での改善必要箇所を洗い出し、改善へとつなげています。 ・事故事件・苦情要望に関しては、報告書を速やかに作成し原因追及を行うことによる再発防止に努めました。 ・八尾・布施・平野警察署と連携を密にし、放置・盗難車両への迅速な対応と巡視強化等による事故防止に努めています。 ・また公園周辺の不法投棄物についても柔軟に処理対応をしました。 ・遊具の日常点検・定期点検(月一回)・精密点検を実施。専門業者と協議して、事故の未然防止に努めました。補修についても迅速に対応しています。 ・利用者の視点から保護者と遊具点検を行いヒアリングを実施(3月予定) ・子供を対象とした楽しみながら遊具の利用について学ぶ「遊具レンジャー」実施(3月実施予定) ・バリアフリーチェックを月一回実施。(ハートフルゲート点検整備・多目的トイレ点検、園内ハザードや不法投棄物等の点検、円周花壇の整備点検)バリアフリーチェックには、公園スタッフを1名参加させ、巡視の視点等の研修を兼ねて行っています。 ・あんまちメールに登録し、近隣における犯罪についての情報把握に努めています。 ・月に1度の安全衛生協議会を立ち上げ、久宝寺緑地と住吉公園を交互にパトロールし、公園内の安全確保を強化しました。 <p>【自己評価】</p> <p>適切な安全対策をできるよう安全衛生協議会を立ち上げ、職員間の情報交換を行い職員の安全管理意識の醸成につとめました。また、関係機関(利用者・専門業者・警察)との連携を密にし、防犯上の巡回を増やしていただくなど、安全を確保できました。</p>	A	<p>実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。</p> <p>○点検の工夫として、年間点検計画の作成・受託公園間での相互パトロール実施・公園職員以外の専門家による点検・公園利用者が参加した点検や学習会等を実施することにより、利用者の立場に立った安全確保対策ができています。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>年間点検計画の作成、受託公園間での相互パトロール実施、公園職員以外の専門家による点検や、公園利用者が参加した点検や学習会等を実施することにより、利用者の立場に立った安全確保対策ができています。引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>
	危機管理体制。(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久宝寺緑地で国際規格ISO22301(事業継続)を認証取得(2015/2/27) ・今年度も引き続き認証取得予定(1月15日・16日審査予定) ・非常時用の備品調達予定 ・防災倉庫の整備(備品リスト作成と備品の更新) ・災害時の燃料として園内の剪定枝等の有効活用するため、薪置き場に薪を備蓄 ・2017中河内防災フェア×イザ!カエルキャラバン! in久宝寺緑地でイザ!カエルキャラバン!の開催、久宝寺緑地防災模型の大阪府への貸し出し ・東大阪市長瀬南自治会の防災訓練への資機材貸出 ・東大阪イオンへの防災訓練の資機材貸出 ・大連小学校の見学受け入れ(公園業務について説明)(11/7) ・図上訓練(2017/8) ・大阪府防災訓練に参加(9月雨天・1月実施予定) ・防災用マンホールについても閑散期に清掃、開閉チェックを実施予定。 ・防災倉庫を整備し、備品リスト作成に引き続き、防災備品の充実に努め、災害時の備えとして、マルシェ等イベント開催に合わせてテントを購入しました。災害時に無駄なく動けるようイベント等で日常的に利用しています。 <p>【自己評価】</p> <p>久宝寺緑地が全国初でISO22301を取得し、全国の防災公園のモデルとして取組み、防災知識の啓もう活動として、イザ中河内防災フェアで、いざ!カエルキャラバン!を開催しました。職員の防災時の危機管理意識の高まりにつながっています。</p>	A	<p>実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。</p> <p>○2015年に防災対応の国際規格認証取得以来、毎年更新することにより防災対応の品質維持や、訓練に積極的な取り組みを行っている。</p> <p>○防災備品の充実のため購入したテントは、災害時即時活用できるよう防災資機材を集めた倉庫に収納している。なお、このテントは通常時園内での催し時に活用すると共に、その他の資機材とあわせて地域での防災訓練に貸出しを行い、地域防災に繋がっている。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理運営がなされている。</p> <p>防災公園であることを意識し、災害発災時における広域避難場所や後方支援活動拠点としての役割を果たすための活動に、積極的に取り組んでいることは評価できる。</p> <p>引き続き、危機管理体制の維持・充実に努力されたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【久宝寺緑地】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(5) 府政策との整合	応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどりのおおさか推進計画の推進 ・みどりの風を感じる大都市・大阪実現に向けた協力としてみどりの日のイベントの実施(花の種まき) ・笑働OSAKAへの協力(「中環をきれいにする日」に参加協力) ・中河内地域防災フェアへの協力。チラシの印刷、保険加入、備品提供(11/25開催) ・大阪ミュージアム構想への協力(登録し実施) ・「おおさかカンヴァス推進事業」への協力(場所の提案はしましたが、新規活用がありませんでした。) ・エル・チャレンジとの連携による工賃向上計画推進事業への協力(印刷物の発注、売店の運営依頼、障害者の就労訓練として一部清掃業務委託、府庁内マルシェでの資材提供) ・大阪府障がい者就労サポートカンパニー優良企業として登録 ・大阪府「こころの再生」府民運動(登録) ・久宝寺緑地ヒーリングガーデナークラブの支援(広報や園内活動支援) ・青少年サポートセンター花壇ボランティア受け入れ(11/20参加者40名) ・「都市のバリアフリー化の推進」(月1回のバリアフリーチェックによる改善など、園内のバリアフリー化を推進) <p>・「大阪府生き物と触れ合える都市公園計画」への推進活動(レッツ久宝探検隊プログラム、自然学習ゾーンや心字池の取組みを実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八尾土木事務所の地域活動支援・府民協働の取り組みへの協力(東大阪市長瀬東自治会、夢のコットンロードへの協力、久宝寺未来会議参加) ・ボランティアへの支援として、プロジェクターやスクリーンが常時貸し出せるよう設置 ・大阪ピンコロクラブの運動教室の指導員養成講座を開催し、新たな指導ボランティアの育成を支援。 ・久宝寺緑地サポーターズシステムの充実。現在登録者13名と1団体。 ・剪定枝をチップ化したものやたい肥化したものを無料配布 ・園内に剪定した枝の切り株を利用して作ったクラフトを毎月ごとに置き、来園者を迎えています。 ・ご家庭で不要になった園芸用土を回収することで、土の不法投棄を減らし、リサイクルしています。 ・ミミズ堆肥を作成し、園内の花壇で使用しています。 ・生物多様性普及啓発キャンペーンに参加。 <p>【自己評価】</p> <p>中河内地域防災フェアへの協力や、大阪府生き物とふれあえる都市公園計画として自然学習ゾーンや心字池での取り組みなど、提案事項について、概ね計画を進めることができました。</p>	A	<p>実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。</p> <p>○府公益・福祉・環境・府民協働等の各事業への積極的な取り組みができている。</p>	A	<p>府の施策に積極的に協力し、地域や各種団体と連携した適切な運営管理に取り組んでいることは評価できる。</p> <p>引き続き、良好な運営管理に努められたい。</p>
II さらなるサービスの向上に関する事項						
(1) 利用者満足度調査等	アンケート結果はどうであったか。これを受けてより満足度を向上させるために、どのように取り組むか。	<p>【実績】</p> <p>施設管理(禁煙対策:1.1)、サービスについて(売店:0.2)、サービスについて(HP:0.7)の3点に付いて利用者の満足度向上が必要と考えられる。特に売店に対する要望は高く、やや不満、不満を合わせると35%であった。禁煙対策については1.1ではあるが、子どもたちが集う場所での禁煙を利用指導強化する必要があると思われる。また、ホームページについてはやや不満、不満を合わせると15%となり、ホームページの表示についてもっと情報を得やすいように工夫する必要があると思われる。</p> <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡視において見つけた灰皿の撤去を行い、禁煙エリアでの禁煙キャンペーンを実施する。 ・北地区においては新たな便益施設がオープンする予定となっており、管理事務所が運営するサービスコーナーが開設される。より多くの利用者にサービスを提供できるよう「防災」「子育て支援」といったコンセプトにあった運営方法を検討する。また、第2駐車場併設の売店についても売店に限らない活用を検討する。 ・情報を収集しやすいように、利用者の目線に立ち、ホームページの内容を(レイアウトを含み)改訂する。 	A	<p>○屋外での禁煙対策は、対策が必要な箇所に分かりやすく表示すると共に、積極的な啓発が必要と考える。</p> <p>○売店は北地区に設置されるコンビニの状況を見ながら、検討する必要があると考える。</p> <p>○HPは情報を満載するのではなく、写真や簡単な文言で、見て分かる画面づくりが必要と考える。</p>	A	<p>総合的な満足度は良好であり、適切な維持管理に取り組んでいると評価できる。</p> <p>子どもの多いエリアでの禁煙対策や売店など、公園利用者の更なる満足度向上に向け、引き続き適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【久宝寺緑地】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	前年度のアンケート結果に対して、より満足度を向上させるために、どのような取組みを行ったか。	<p>前年度アンケート結果のうち特筆するものは以下のようになっていました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特殊庭園の手入れは出来ていますか(-0. 2) ●犬の放し飼いや野良猫などへの対応はきちんとできていますか(-0. 2) ●イベントは充実していますか(-0. 2) ●季節のイベントは充実していますか(-0. 3) ●園内放送で、イベント案内や注意喚起など、必要な情報が流れていますか(-0. 3) <p>の5項目でした。</p> <p>アンケート結果を踏まえ、特殊庭園であるシャクヤク園の管理についてはより多くの方に見ていただくことが理解につながると考え、シャクヤクイベントのに加え、閉園後のシャクヤク株分け講習会を行うなど、利用者とのコミュニケーションに努めました。</p> <p>犬の放し飼いや野良猫などへの対応については、ドッグスクールやパンフレットの手渡しを行うなど、飼い主への啓もう活動を行っています。また、FMちゃおの放送時に飼い主のマナーアップを訴えるなど活動を行っています。</p> <p>イベントの充実について評価が下がっていましたが、イベントの参加者も近年増加の傾向が見られています。イベントの開催についての周知が徹底していないと考え、イベント情報が掲載されている季刊誌「久宝寺緑地しんぶん」の配布数を昨年度末の6000部から6500部へと増やしました。</p> <p>園内放送でのイベント案内や注意喚起についてはイベント前の園内告知に努めました。注意喚起についても既存の放送に加え、必要に応じて放送するようにしました。</p>	A	<p>○シャクヤク園の栽培管理は十分出来ている。気候状況により開花時期が毎年若干変化しているため、満開時タイミングよく来園できていない方が多いと考えられる。経年状況や当年の開花状況を把握し、「見ごろ」情報の発信が必要と考えられる。</p> <p>○シャクヤク園の情報発信として近鉄広報誌「花だより」の掲載に加えて、駅ポスターの「花だより」にも掲示してもらえる様にしている。また、その他のイベントに情報についても季刊誌の部数を増やす等、積極的に対応している。</p> <p>○シャクヤク園でのイベントは毎年趣向を凝らして実施され、来園者は増加している。</p>	A	<p>シャクヤク園での対応など、前年度低い評価を受けた事項に対し、適切な対応がなされているものと評価できる。</p> <p>今後、広報の方法を工夫するなどして、引き続き満足度向上に努められたい。</p>
(2) その他創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ●久宝寺緑地サポーターズシステムを活用し、大阪府の「こころの健康センター」から受け入れ、園芸療法を生かした居場所の提供から就労へつながった ●就労支援機関レジスタからの就労体験の受け入れ ●苗圃の整備(従来から放置されていたものの整理) ●シャクヤク園の早朝開園 ●文化の日に久宝寺寺内町をめぐるウォーキングツアー(ノルディックウォーク) ●12月5日の国際ボランティアデーにちなみ、久宝寺緑地で活動されているボランティアの方たちへの感謝セレモニーを昨年に引き続き開催し、(12月2日開催)感謝状およびボランティアピンバッジ贈呈)ボランティア活動にインセンティブをつけることで、ボランティア促進につなげました。 ●夜間防災訓練を実施(12月26日) <p>【自己評価】 提案事項以外でも、就労支援や、夜間防災訓練など一つ一つの取り組みを、創意工夫を凝らし、発展させていきます。</p>	A	<p>○日常管理や府民協働、イベント等を実践して行く過程で発生した問題点や改善点を、工夫を凝らし自主的に発展させている。</p>	A	<p>日常管理やイベント等を実践して行く過程で発生した問題点や改善点を、工夫を凝らし自主的に発展させている点が評価できる。</p> <p>今後とも、積極的な取り組みを期待する。</p>
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目						
(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。支出計画に沿った支出配分がなされているか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行楽シーズン(10月)に台風や長雨の悪天が続いたため、イベントの中止や大会の中止が相次いだ。また、高校野球予選大会の組み合わせにより、人気高校が組み込まれなかったことから、駐車場・オーパス施設共に売上が通常見込みの半分まで激減しました。 ・修繕費は、八尾土木事務所と打合せ簿を交わし、修繕費予算を単年度消化するのではなく、平成27年度から平成29年度の3年間合計で見ることとしたため、土木事務所とその都度協議しながら、最終年度にあたる残額を消化しています。 ・昨年度に引き続き、シャクヤク園の認知度を高めるため、品種の増加、運営面ではクリエイター起用、夜のイベント等を企画し、特殊庭園の予算を超えた取組みに挑戦しました。 ・野球場等のスポーツ施設、水辺広場、高木等の樹木の管理には、管理レベル以上の管理に取り組みつつ、予算を睨みながら、外注委託、機械化を図ることで実現しています。 ・これらの投資を活かして運営・維持管理レベルの向上を図り、安全・安心の確保、久宝寺緑地の認知度を上げ、より美しい景観形成、サービスの向上につとめ、来園者の増加を図り、平成29年度に収支を合わせていきます。 ・北地区の便益施設オープンに当たり、「防災」「子育て支援」をテーマにしたインフォメーションコーナーのテーブル・イス・遊び場のデザインや、本棚設置などの投資を行い、今後のインフォメーション活性化に活かしていきます。 <p>【自己評価】 求められているレベルを超える維持・管理を行い、予算内に収めるよう努めました。</p>	A	<p>○老朽化した施設修繕の増加、新規施設開設に伴う維持管理や資機材購入に伴う経費支出、天候不順による収入減等の状況を工夫し、実施計画書2-(1)収支計画に対して適正に執行された。</p>	A	<p>ほぼ計画的な予算執行である。引き続き、適切な収支バランスの維持に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	【久宝寺緑地】 評価委員会の指摘・提言
			(S~C)		(S~C)	
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画。(応募時に示した管理体制を構築したか。)	【実績】 計画通りに配置しました。 【自己評価】 計画通りに配置することが出来ました。	A	○実施計画書に沿った人員配置ができています。	A	—
	必置技術者等の配置。(技術者を配置したか。)	一級造園施工管理技士(2名) 二級造園施工管理技士(2名) 公園管理運営士(2名) 国際公園管理運営士(CIPP)(1名) 体育施設管理士(1名) 園芸療法士(1名) 園芸福祉士(2名) 水上安全法救助員(2名) 一級土木施工管理技士(2名) 二級土木施工管理技士(1名) チェーンソー取扱者(11名) 高所作業車技能講習(6名) 普通救命講習(25名) 二級ピオトープ計画監理士(1名) 防火管理者・甲種(1名) 危険物取扱者・乙種4類(2名) 公園施設点検技師(1名)	A	○実施計画書に沿った人員配置ができています。	A	—
	労働災害等未然防止のための管理運営。 (外注・下請を含む職員の労働災害や維持管理業務に起因する来園者事故など公衆災害の発生はなかったか。また、従業員への安全教育・訓練の実施状況について確認。)	【実績】 12月1日現在労働災害や公衆災害の発生はありませんでした。また、10月19日には安全衛生講習を実施し、職員の安全教育を行いました。 【自己評価】 日々のKYミーティングや安全衛生講習の実施により、職員がその日の労働安全について確認する習慣が付き、12月1日現在の今年度の無事故での管理運営につながっています。	A	○除草作業では、作業箇所でのカラーコーン設置や作業中の看板、作業員の防護対策(ヘルメットや防塵メガネ、前掛け等)装着が出来ていることを履行確認時に確認しており、安全管理に対する意識が十分徹底されていた。	A	労働災害管理上の問題が発生しておらず、今後も労働災害等を発生させることなく管理運営に努められたい。
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況。(経営状況に問題は無いのか。指定管理業務の継続に影響を与えないか。)	【実績】 特に問題はありません。 【自己評価】	A	○概ね適正である。	A	財政状態はおおむね良好であるが、営業利益がマイナスである規模の小さい構成団体がある。